

資料：

1 基礎的環境整備

障害のある子どもに対する支援については、法令に基づき又は財政措置により、国は全国規模で、都道府県は各都道府県内で、市町村は各市町村内で、教育環境の整備を行う。

これらは、「合理的配慮」の基礎となる環境整備であり、それを「基礎的環境整備」と呼ぶこととする。

2 合理的配慮

「合理的配慮」とは、「障害のある子どもが、他の子どもと平等に「教育を受ける権利」を享有・行使することを確保するために、学校の設置者及び学校が必要かつ適当な変更・調整を行うことであり、障害のある子どもに対し、その状況に応じて、学校教育を受ける場合に個別に必要なとされるもの」であり、「学校の設置者及び学校に対して、体制面、財政面において、均衡を失した又は過度の負担を課さないもの」とする。

【障害者権利条約について】

障害：「障害」の表記を不愉快と思われる方に配慮して使用しています

1 共生社会（インクルーシブ社会（包容社会））

障害者は、国や地域や人種に関係なく生まれます。当たり前前の存在です。社会は、赤ちゃんから、お年寄りまで様々な人で構成されています。互いに支え合って成り立っています。障害者も当たり前前の存在です。

しかし、歴史を遡ると今とは違った社会がありました。女性や子どもが1人前に扱われなかったり、障害者も様々な権利が奪われていました。これを、助け合って生きる家族や地域の様に、社会全体を当たり前前の状態に戻そうとするのが障害者権利条約の目的です。

2 互いに支え合って

日本国憲法が「すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。第14条」と全ての人が平等であることを保障しています。

現実には、まだまだ残っている差別を無くす義務を私達は負っています。互いに支え合って平等な社会を作りましょう。

3 障害者権利条約の批准

障害者権利条約は、こうした差別の残る現実を是正するために作られました。世界の国々が力を合わせて障害者差別を克服しようと条約を作りました。日本も、2014年1月20日に批准し障害者差別を克服すると世界の国々に約束しました。

6 その他の交流

1. 横浜英和小学校（2回/年）
 2. 捜真小学校（2回/年）
 3. 聖マリア小学校（2回/年）
- 他に中学部・高等部も各校と交流しています
4. 横浜英和女学院中学校（2回/年）
 5. 横浜英和女学院高等学校（2回/年）
 6. 横浜雙葉高等学校
 7. 地域中学校の福祉体験等

横浜市立 北方小学校 と 私立 聖坂養護学校の交流

インクルーシブ教育システム構築事業（交流及び共同学習） 2013～文部科学省 特別支援教育課 事業

1 事業の紹介

本事業は、特別支援学校と幼・小・中・高等学校等との交流及び共同学習の計画的・組織的な実施について実践研究を行うとともに、これらの交流、及び共同学習における「合理的配慮」の提供について実践事例を蓄積・普及し、...交流及び共同学習の充実、...障害の状態や教育的ニーズに応じた「合理的配慮」の提供... 「事業趣旨」



一日楽しかったね

2 交流の紹介

聖坂養護学校と障害について-5月
松井校長より「北方小にて」
リズム交流 [聖坂にて]-6月
各クラス毎
1日交流 [聖坂にて]-10～12月
クラス毎、弁当持参、リズム運動やゲーム等
北方へ招待「北方小にて」-2月
児童企画によるゲームや出し物



友達と一緒に「楽しいな」

3 子どもの育ち - 感想文

北方へ招待の交流後、クラス毎に自分の成長について振り返りました。一人ひとりの命のほとばしりの様に綴り上げた文章の中に、大きな感動と心の成長が見て取れます。

ぼくは、ひじりざかの子たちのこうりゅうで、せいちょうしたことは、1回目のときは、とってもきんちょうして、ともだちとはあんまりうまくいきませんでした。2回目は、ひじりざかのペアと、1回目よりちょっとなかよくなりました。そして、3回目は、ペアと2回目よりとてもなかよくなりました。さいごのこうりゅうで、ぼくがいちばんがんばったことは、「おたまじゃくしの101ちゃん」です。「おたまじゃくしの101ちゃん」で、ぼくはせりふをいうのがとてもきんちょうしました。そのときぼくは、ひじりざかの子たちに、楽しんでもらいたいなというきもちで「おたまじゃくしの101ちゃん」のせりふをいきました。ぼくのめあては、まえよりも、もっとなかよくなりたいでした。そのめあてでペアとあそんだりしたら、めあてのとおり、とてもなかよくなりました。ひじりざかの子たちがとても楽しんでくれたなとぼくは思いました。

ぼくは、ひじりざかこうりゅうをつうじて、1つせりょうしました。しょうがいしゃもふつうの人間だということその前にやったレクレーションはいろいろなあんなも、たくさんでいていいなとおもいました。ひじりざかこうりゅうはさいしょはすこしきんちょうしたけどとてもたのしかったです。

ぼくは、ひじり坂一日交流で、ペアの子がどっか行っちゃうときに、「こっちはよ」といって自分で声かけられるっけと思いましたが、ほかにもこうするんだよ、こうしてね、やってみて楽しかったねや、メッセージカードをわたすときも楽しかったねと声に出せました。だから自分ってこんなにせいちょうしてたってことがわかってうれしかったです。



わー、すごい バルーン遊び



連絡先 聖坂養護学校
〒231-0862 横浜市中区山手町 140
TEL 045-622-2974 FAX 045-622-2923
E-mail : hijiri@hijirizaka.jp



一緒に歩こう「いちに、いちに」

あつまろう あつまろう みんなで手を繋ぎ大きな円になりました



横浜市立 北方小学校 と 私立 聖坂養護学校 の 交流

4 教師の育ち - 感想

聖坂教師

交流学習の体験、経験は、様々なことを直に感じられる何事にも代え難いもので、双方の児童にとり、とても刺激的で充実した時間になっています。
教師にとりまして、それぞれの成長を感じたり、新たな一面を発見したりと、子ども達を見つめ直す大変貴重な機会です。子ども達一人ひとりの心に残るこの交流学習をこれからも大切にしていきたいと思っています。



「がんばってー」リレーゲーム



「せーの」フラフープ投げ、うまく入るかな



手と手を繋いで
グルグルグルグル

北方小学校教師

3回の交流を通して、相手の気持ちを考えて行動する子どもたちの様子が見られました。回を重ねるごとに、関わり方に変化が見られ、子どもたちの心の成長を感じることができました。障害のあるなしに関係なく、みんな同じ社会の一員という思いの育成につながる交流だと思います。

「どんな友達と会えるのかな？」子どもたちのわくわくドキドキ、緊張と期待の気持ちが伝わってきます。一人ひとりが自分の中で葛藤しながら、わかり方、かかわり方を考えて時にちょっと引いたり、遊んだり。お互いの距離感が1年間の積み重ねで徐々に縮まり、最後にとっても温かいふわっとした空気に包まれて、幸せな気持ちにさせてくれました。こうした経験がそれぞれの子どもたちの人生にとって、次の一步をふみ出すきっかけになることはまちがいありません。

合理的配慮協力員



おいでおいで！
いっしょにいこう



びよんびよんうさぎ
せーのジャンプ

5 保護者の感想

(聖坂の小学部の保護者の感想です)

注：交流の見学は自由です

・初対面でも関わりが持ちやすいようなゲームをするなど、プログラムに工夫があってとてもよいと思います。「関わること」それ自体が目的であり、学びとなると思うので、現状のような子どもが楽しめるゲームや遊びを続けてほしいと思います。

・障がいを持つ子どもと健常の子どもとは、日頃の学ぶ場は違いますが、交流を通じて、少しずつでもお互いを理解し、また、共通する点を見出すことができたらと思います。

ゲーム大会1位になったよ
ワイ



・健常児集団との差異を息子は認識しているのだろうと思います。交流を何より楽しみにしていて、家に戻ると非常に満足した様子です。物言わぬ息子の最大限の賛辞だろうと思います。いつか、いつか、統合教育が実現する日が来ることを切に願います。

みんな一緒に
フォークダンス



どんな発表かなあ...楽しみ



・実際様子は本人に聞いても嫌がるので、先生が連絡帳に書いてくださった内容くらいしかわかりませんが、小学1、2年生の頃は楽しみにしていた様子がありましたが、3年生になり、楽しみにしているものの、交流いやだな、等と言う時もありました。お友達とはゲームの話ができてうれしかったようです。

・地域の小学校との交流は障がいのことを理解してもらうためにはとてもよいことだと思います。刺激を受けたり、思いやりを持ってもらえると嬉しいです。地域が広がって理解も進んでほしいと願います。(地域の各小学校)

みんなこっちみて
「ハイチーズ」



ペアの友達と「ハイポーズ」

